

平成23年度職員採用試験（大学卒業程度）
林業 専門記述試験（23. 6. 26）

＝ 課 題 ＝

○ 県産材の安定供給と利用拡大による持続的な林業の確立

広島県の林業・木材産業は、森林資源が成熟しつつあるなかで、小規模零細な所有形態と森林組合等の林業事業体の機械化の遅れから、木材を大量に安定供給する体制が構築されておらず、現状の生産構造を転換し、効率的で持続的な林業経営を確立するため、森林組合等による長期施業受託などを通じて「森林の所有と経営の分離」を図り、一定のまとまりとして捉え、作業道の整備や高性能林業機械の導入による「低コスト林業団地」としての整備を推進するとともに、素材生産・加工・流通各部門による木材安定供給協定の締結により、流通の効率化と木材安定供給を促進してきました。

このような施策を展開するなかで、平成22年12月に、これまでの取組を基本としながらも、必要な見直しを行うことで、農林水産業の構造改革の早期実現をめざすとともに、本県農林水産業の将来像を県民と共有し、共に新たな時代を切り開く農林水産業づくりを推進していくため、「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」を策定しました。

このプランでは、次の4つの重点施策の展開方向を柱として、県産材の安定供給と利用拡大による持続的な林業の確立を目指すこととしています。

- ① 効率的な木材生産体制の構築（低コスト林業団地整備の更なる推進）
- ② 県内経済に貢献できる流通・加工体制の実現（県産材を利用しやすい環境整備）
- ③ 県産材を最大限活用する木材利用の実現（木造住宅や公共建築物等での利用拡大）
- ④ 適正な森林資源管理（「伐って・植えて・育てる」木材の循環利用の仕組づくり）

については、4つの展開方向の中から3つを選び、林業・木材産業対策についてのあなたの考えを、具体的な施策を挙げながら述べなさい。